

導入年度	H20 年度	設備名	電気炉		
メーカー	日陶科学(株)	型 式	STV-10M-W	設置室	資源利用実験室

平成20年度 電源立地地域対策交付金

《 概 要 》

電気炉は、主に金属やセラミックス、ガラスの溶融や焼成などに用いられています。身近なところでは趣味の陶芸や陶器の焼成用に、また工業用ではガラス製品から最新の半導体や機能性セラミックスまで、研究から生産まであらゆる物の溶融や焼成に使用されています。

《 原 理 》

電気炉は加熱部である炉体と温度制御を行う制御装置より構成されています。炉体は、温度を上げる発熱体とそれを保温する断熱材の組み合わせで成っており、炉内の温度勾配や昇温速度の条件に合わせて発熱体の種類や配置が変えられています。

《 装置外観 》



《 仕 様 》

項目	電気炉
型式	STV-10M-W
使用最高温度	1300℃
炉内サイズ	W550×D450×H630mm
炉壁厚	180mm
温度制御方式	PID 制御
プログラムパターン	プログラム数 40、ステップ数 19
焼成雰囲気	酸化、還元（プロパンガス）